

平成20年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第62回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成20年 5月31日(土)	ひたちなか市総合運動公園体育館	大会1日目	Bコート	第6試合 16:30~									
<チームA> 世田谷学園 東京 2位		67 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>1Q</td><td>20</td></tr> <tr><td>2Q</td><td>19</td></tr> <tr><td>3Q</td><td>29</td></tr> <tr><td>4Q</td><td>15</td></tr> </table> 83	1Q	20	2Q	19	3Q	29	4Q	15	<チームB> 県立幕張総合 千葉 2位		
1Q	20												
2Q	19												
3Q	29												
4Q	15												

【Aブロック】

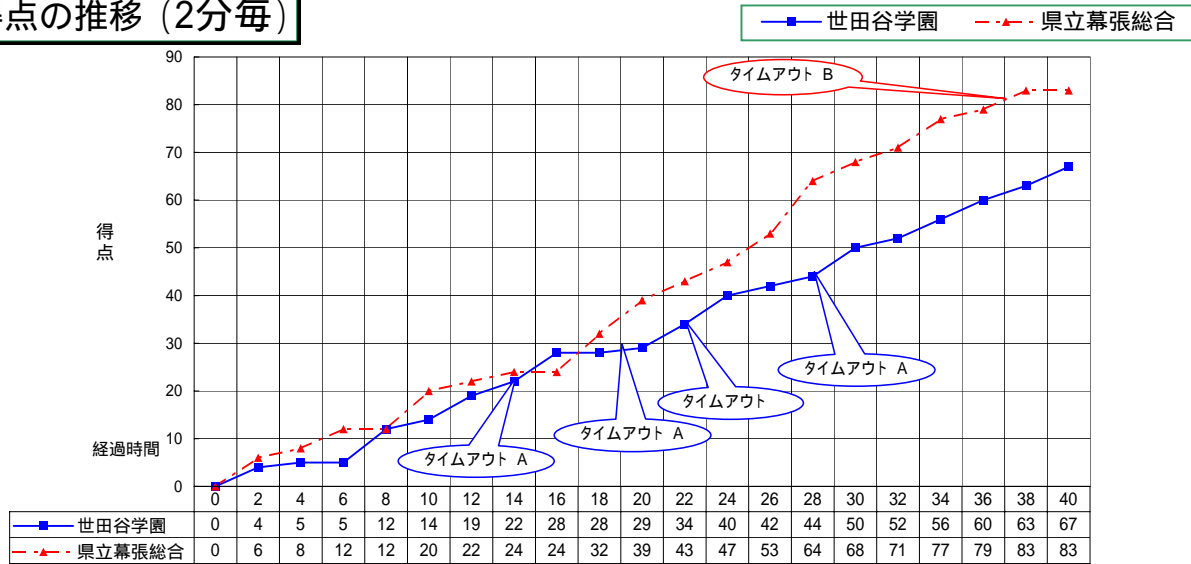
主審：二宮 隆二(茨城) 副審：大庭 英裕(神奈川)

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	森淵 靖隆	12	2	3		3
	5	藤沢 優策	11	1	2	4	1
	6	加藤 耕太郎	18		9		1
	7	長谷川 凌	5		1	3	1
	8	金子 準也	5		2	1	2
	9	甲谷 健太郎					
	10	八木橋 昌幸	11		4	3	1
	11	渡辺 健人					1
	12	布目 大祈					
	13	田中 遼平					
	14	横山 大輝					
	15	並木 航一					
	16	飯村 陽太郎					
	17	小澤 智之					
	18	吉川 治瑛	5		2	1	
コーチ		伊藤 恒					
合計			67	3	23	12	

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	金子 琢哉	2		1		1
	5	横山 拓巳	14		7		1
	6	渡邊 良健	31	3	9	4	5
	7	山田 元太郎	6		2	2	1
	8	石澤 雄馬	12		6		2
	9	中村 考宏					
	10	阿部 勝馬	8		4		5
	11	重田 智幸					
	12	平田 和哉					
	13	山本 哲					
	14	本橋 涼					
	15	鈴木 暁良	4		2		3
	16	渡邊 清孝					
	17	松尾 和樹	6		3		1
	18	高山 陽実					
コーチ		飯沼 加寿夫					
合計			83	3	34	6	

：スターター / ：出場 / 3P:3点シュート成功本数 / 2P:2点シュート成功本数 / FT:フリースロー成功本数

得点の推移 (2分毎)



戦 評

記入者： 山戸 剛

第1P、世田谷はオールコートマンツーマンディフェンス、幕張総合はハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。幕総は 渡邊のシュートで先行するも、序盤から両チームとも激しいディフェンスで簡単に攻めさせず思うように点数が伸びない。残り2分幕総のチームファウルが5つとなり、世田谷はフリースローを得るが、これを2本とも外し、逆に幕総に6連続得点を許す。20 - 14と幕総リードで第1P終了。
 第2P、世田谷はリバウンドでがんばり、反撃を開始する。 八木橋のバスケットカウントで同点とするも、ここから踏ん張れず再び幕総にリードを許してしまふ。悪い流れを切りたい世田谷は残り6分30秒タイムアウトをとる。これが流れを変え、スティールからの速攻で逆転に成功する。しかし、幕総も簡単には引き下ならず、大幅にメンバーを入れ換えながらも再逆転する。ここから幕総が点差を広げ、39 - 29と幕総リードで前半終了。
 第3P、幕総は 横山 阿部のリバウンドシュートで点差を広げにかかる。ここで離されたくない世田谷は 森淵が3連続得点で反撃の糸口をつかむかに見えたが、幕総 渡邊に大事なところで3Pシュートを沈められ勢いに乗れない。世田谷はセンター陣がブロックやスティールにあいゴール下で得点できなかったのが痛かった。68 - 50と幕総のリードが広がって第3P終了。
 第4P、幕総は世田谷のセンター陣を抑え、苦しい形での3Pシュートを打たせることに成功する。加えて、オールコートマンツーマンディフェンスで常にプレッシャーをかけた。攻守に走り続けた幕総が勝利を収めた。